

## 第1 作成の趣旨

三河山間地域は、人口の減少や高齢化の進展など厳しい状況にあります。新東名高速道路や三遠南信自動車道の整備など、この地域の地理的条件を大きく変化させる可能性を秘めたプロジェクトが進展しつつあります。

また、農山村に対する関心の高まりなど、この地域に活性化の機会をもたらす時代の潮流も認められます。

こうしたプロジェクトの効果や時代の潮流の変化から生み出されるチャンスを最大限に受け止め、地域の活力を再構築するため、県は、平成21年3月に、三河山間地域の長期的・総合的な振興の指針となる「あいち山村振興ビジョン～緑が生きる豊かな山の暮らしの構築～」を策定しました。

このビジョンでは、2025年（平成37年）までを展望したうえで、4つのめざすべき将来像を設定し、これらの将来像を実現するため、2015年（平成27年）を施策展開の目標年次として、県が重点的に展開していく6つの施策の方向性を明らかにしました。

施策の展開にあたっては、地域住民はもとより、企業、大学、NPO、ボランティアの方々など様々な主体との多層的な連携並びに都市地域を含む広域的な連携が不可欠です。

そのため、ビジョンに位置付けた施策の2010年度の主な取組状況をまとめた「あいち山村振興ビジョン 年次レポート 2011 ～緑が生きる豊かな山の暮らしの構築状況報告～」をホームページを通じて情報発信し、多層的、広域的な連携主体と情報の共有や認識の統一を図ってまいります。

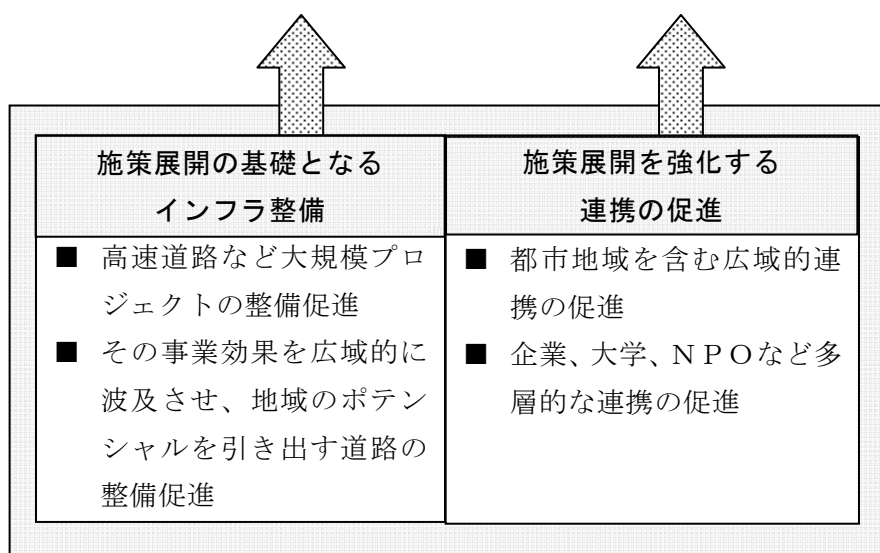
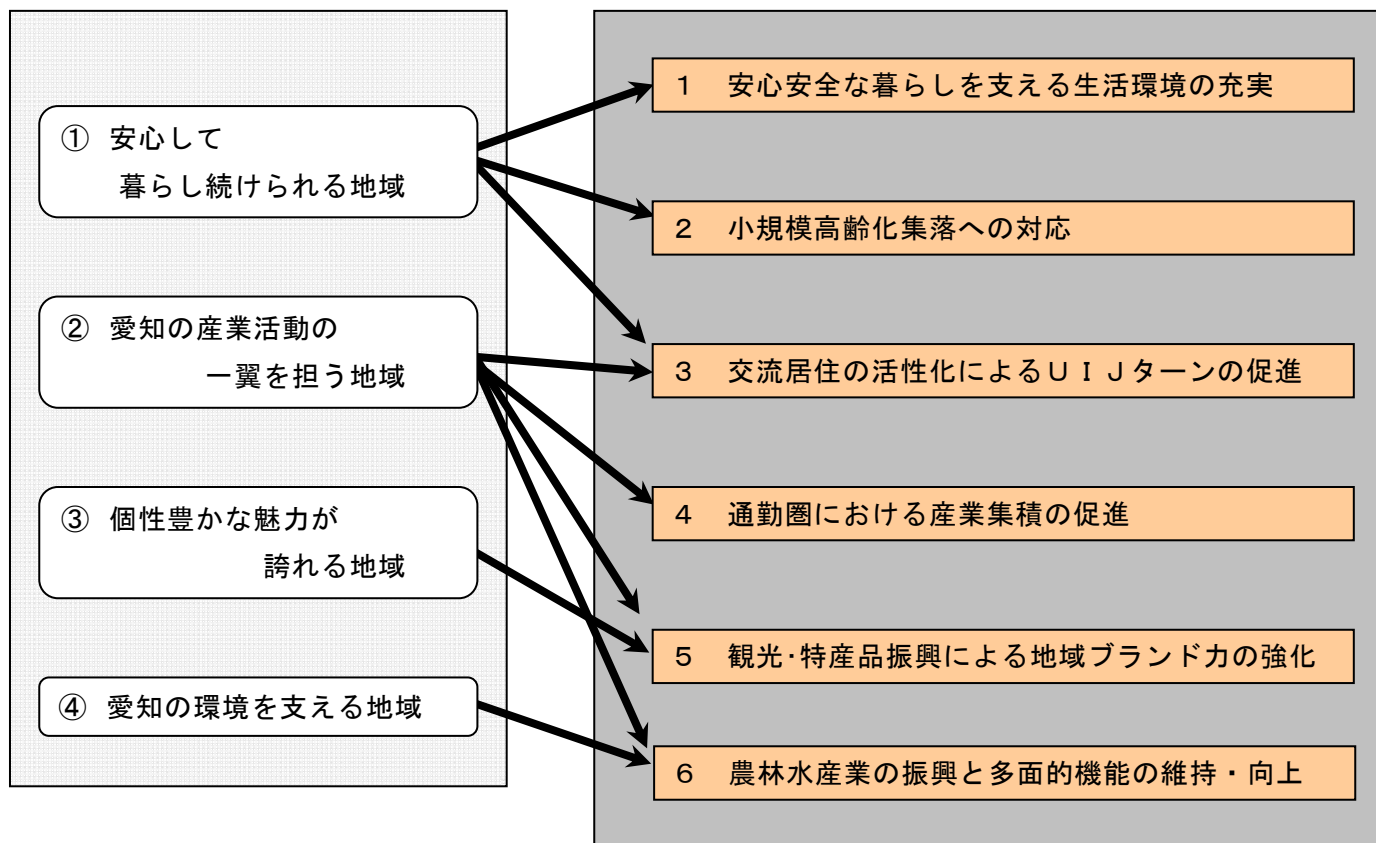
□ビジョンの対象地域



## めざすべき将来像と重点的に展開する施策

### [めざすべき将来像]

### [重点的に展開する施策]



## 第2 2010年度の主な取組状況

### 1 将来像に向けた施策展開の基礎となるインフラ整備

[地域のポテンシャルを引き出す道路整備等の促進]



#### <主な取組状況>

- 新東名高速道路、三遠南信自動車道の整備に向けて用地買収や工事等を実施
- 国道151号新城バイパス、国道473号岡崎額田バイパスの平成26年度供用に向けて用地取得や工事等の実施
- 水源地域の生活再建を図るため、水源地域整備計画等に基づく事業を実施



新城バイパス

## 2 将来像に向けた施策展開を強化する連携の促進

### [都市地域を含む広域連携の促進]

<主な取組状況>

- 愛知県交流居住センターが都市住民と三河山間地域6集落との交流イベントを実施（交流回数 26回 参加人数 1,047人）



都市住民との交流イベントの様子（天狗なすの植付）

- 県境を跨ぐ連携として長野県、NEXCO中日本との観光キャンペーンを実施



長野県、NEXCO中日本と連携したキャンペーン

## [多層的な連携の促進]

＜主な取組状況＞

- コンビニエンスストアとの包括協定に基づく地域振興策の実施
- 中日本高速道路株式会社ホームページ「高速日和」とブログ「三河の山里だより」の連携により地域情報を発信
- 名古屋大学と連携し、ブログ「三河の山里だより」の情報発信のあり方を検討【新規】
- 企業のCSR活動や大学、NPOの活動を受け入れていくため、「三河の山里連携サポートデスク（仮称）」設置に向けた検討会議の開催【新規】
- 市町村や大学、NPO等と連携し、「山里のアート巡り きてみん！奥三河」の一環として、廃校や集客施設等においてアート展示を実施【新規】
- 行政（北設楽郡3町村、国、県）、名古屋大学、交通事業者、住民からなる北設楽郡公共交通活性化協議会において、移動利便性の高い地域の実現に向けて事業を展開



「山里のアート巡り きてみん！奥三河」アートの森の様子  
(左；廃校を利用した作品展示 右；集客施設での学生の作品)